

関西支部ニュースれんけい

令和 3 年 Spring 号 (年 2 回発行) (**第 1 号 (創刊号)** 2021 年 5 月 20 日発行)

1. **関西支部ニュース"れんけい" 創刊のごあいさつ** 2021 年 5 月 大槻眞一

この度、研究・イノベーション学会関西支部は、 支部ニュース「れんけい」を創刊しました。

新型コロナウイルスの感染状況に緊急事態宣言 が関西2府1県に何度も発せられるなど先行きの 見通しが困難な中でも、会員の皆様方には当関西支 部の活動にご理解とご協力を頂きまして、有難く心 から熱く感謝申し上げます。

関西支部は、「イノベーションと地域創生」を年間 テーマに、わが国内外の産業政策や科学技術・イノ ベーション政策などの研究会を開催しながら、多様 な経験的知識の集積と議論を深めています。また地 域の産学官と積極的な交流を進めることで情報の 共有化を図っています。

支部ニュース「れんけい」の発刊が、会員間の交流や支部活動のご連絡に少しでもお役に立てれば と願っています。本紙についてのご意見やご希望も お聞かせ頂ければ幸いでございます。

研究・イノベーション学会関西支部の歴史メモ

- ・1985 年 10 月「研究・技術計画学会」設立
- ・1987 年 10 月「研究・技術計画学会関西支部」設立
- ・1996 年 10 月 研究・技術計画学会第 11 回 年次学術大会(大阪電気通信大学)を共催
- ・2015 年 10 月「研究・技術計画学会」を 「研究・イノベーション学会」に改称
- ・2017 年 10 月『研究・イノベーション学会 関西支部設立 30 周年記念誌』発行

(支部 HP に掲載)

・2017 年 10 月 研究・イノベーション学会第 32 回年次学術大会(京都大学)を共催し、「関西支部設立 30 周年記念学術大会(および祝賀会)」開催



・2019 年 11 月『研究・イノベー ション学会関西支部 150 回研究会記念誌(96~ 150 回研究会を振返って)』発行(支部 HP に掲載)

2. 新型コロナ感染防止対策下での研究会再開

2020年2月17日開催以降、新型コロナ対策で休会、7月31日に5か月ぶりで、以下の徹底した感染防止対策を実施しての再開でした。会場写真でもご紹介します。

- ①会場入り口で、体温チェック、アルコール消毒
- ②机配置変更(定員は通常の2分の1に制限)
- ③司会者、講演者はフェイスシールド (マスク) 着 用、アクリル板設置
- ④質問は紙面で、懇親会無し

















3. 参加協力「大阪国際サイエンスクラブ」ニュース 特別懇談会が、2021年1月20日、Zoomとビデ オカメラ併用方式で、オンライン開催されました。 「浪華(大坂)よもやま話~くすりの歴史を訪ねて ~」、講師:くすりの道修町資料館館長 深澤恒夫氏

江戸時代の大坂(道修町の薬屋と疫病コロリ薬)





4. 研究会での参加者の声(感想文)とご回答

①第 155 回研究会(2020年7月31日)

「コロナ禍での開催、安全面でのご苦労に感謝、 講演者のフェイスシールドやアクリル透明版の設 置は初めて見ました。」

「日立造船様の、社内たった一人からはじめられ た社会貢献活動、立派だと思います。」

「酉島製作所様のご講演では、若い社員の海外進 出のエネルギーと活気を感じました。」

「研究会の Web 配信の予定はありますか?」⇒ 会場開催重視なので配信の予定はありません。

「いずれも素晴らしいご講演、危険を冒して?大 阪まで出てきた甲斐がありました。」

②第 156 回研究会(2020 年 10 月 20 日)

「学会発表を通して会員数も増えてきたので、今 後は若手、特に学生会員への展開を考えては」 「参加者名簿があると良いのですが?」⇒個人情 報の問題もありますので公開していません。

- ③157 回研究会(2021年2月26日)「IoT・5Gや新型コロナは、いずれもタイムリーなテーマで興味深く、メモによる質問は多数のQ&Aができて有効です。」
- ④158回研究会(2021年3月12日)
 「交流会は無くてもリアルミーティングが良いです。Zoomには未だ慣れませんので。」

5. 会員からの季節便り

コロナ禍でも、いつもと変わらず春が巡ってきま した (M.K.)。

・庭先の梅(3月)



・姫路城の桜(4月)



6. トピックス

疫病封じの妖怪「アマビエ」 とは、江戸時代、肥後国(熊本) に出現したという伝説です。

(右図は、西宮廣田神社祈願記念)

7. 関西支部のニュースと行事案内

- ①第 35 回年次学術大会(2020 年 10 月開催)に 関西支部提案のホットイシュー「地方企業の海外 展開と地域創生」が一般講演として採用され、関 西支部より企業からの発表 9 件を含む 11 件の発 表がありました(記念誌発行、H P で閲覧可能)。
- ②上記大会にて(これまでの研究・イノベーション学会への格別の貢献に対し)、支部長の大槻眞一氏が「特別功労賞」、運営委員の碓井建夫氏が「功労賞」を受賞されました。
- ③運営委員の苗村昭夫氏が、2021 年 6 月に中小企業庁より出版予定の「中小企業白書」・「小規模企業白書」に事業承継例として掲載される予定です。
- ④2021 年 10 月に開催予定の第 36 回年次学術大会に、「with コロナの経済回復に、地域資源の活用で挑戦する」をテーマにホットイシューを提案します。関西支部からの発表者募集中です。

8. 編集後記

コロナ禍の中、オンラインで編集会議(下の写真) を開き企画、編集作成いたしました。学会誌への投稿・寄稿の経験はあっても、ニュース(お便り)は 皆初めての経験なので、試行錯誤で創刊にこぎつけました。皆様からのご感想などを励みにして、親しみやすい「れんけい」に育てていきます。また、「季節の便り」(花、風景などの写真、絵画、俳句、旅の写真など)や、「読者の声」などもお寄せください。 情報の目的外使用はいたしません。紙面の都合上掲載できない場合もあります。(小池)

※「読者の声」窓口: kansaiinobe.koike@gmail.com 【編集委員紹介】



(左上から) 大槻眞一発行責任者、小池正夫編集委員長、三木基実編集委員、 西原一嘉編集委員、碓井建夫編集委員